

おあしす



特定医療法人 **南山会**

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2020

2

第34巻2号
(通巻390号)



甲州市塩山の小倉山のふもとに県の自然記念物に指定されている座禅草の群生地があります。北側斜面の植林された杉の茂る日当たりの悪い沢の底部にあり、直射日光がほとんど当たらない場所で、甲府盆地の他の場所では溶けてしまう雪がここではまだ残っています。形が座禅を組む僧侶の姿に似ているところから座禅草の名前がついたと言われています。茶褐色の花弁に見える部分は苞と呼ばれ、つぼみを包んでいた葉です。中心部のクリーム色をした楕円形のものにブツブツついているのが花です。雪や氷の残る氷点下の環境で生きて行けるのはみずから発熱し、体を常に20度程度に保つことができるためです。真冬の厳しい寒さの中でみずから発熱し、雪を割って地表に現れるその姿に、春への訪れを感じないでしょうか。幸福を呼ぶ縁起のよい花とも言われています。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1
説明と納得の
医療

2
多職種の連携

3
「ここちよさ」の追求

4
社会参加の推進

新任者研修

精神科デイケアについて

11月28日の午後、「峡西病院リハビリテーションセンター」リハビリで目指したいこと」というテーマの新任者研修に参加させて頂きました。今回はデイケアの工藤伸治公認心理師から講義がありました。

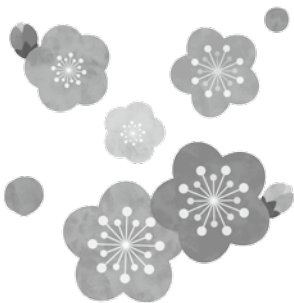
リハビリというと、できない部分をどう改善していくのかというような、問題点をカバーするためのものと課題中心の見方をしてしまっていました。しかし、そうではなく患者様のできる部分に注目し、また、治療をすることで患者様がどのように生活をしていけるのか、どのように生きていきたいのかと一緒に考え支援していくことなのだと思ひました。普段の生活自体がリハビリの環境であるため、病棟で勤務する中で患者様一人ひとりのできるところ、強みを確認し、病棟におけるサービスマスもリハビリの一部となる意識を持って患者様と関わり、業務していきたいと感じています。

先日完成した与進館にできるリハビリテーションセンターでは、入院中から退院後まで、顔なじみのス

タッフや仲間と共に連携して、自分の目的に応じたリハビリが受けられるようになるそうです。患者様が安心して連続したリハビリを受けられるためには、目標やプラン、本人のペースやタイミングの共有が必要です。私も病棟のスタッフとして患者様の夢の実現を目指し、情報共有や生活リハビリで協力できるよう精進します。

クレル病棟看護師

眞田 夏菜



幡野さんの朗読会

作業療法に通っている幡野広美さんは、病棟の患者さんなどを招いて朗読会を開いています。昨年は11月21日に朗読会がおこなわれ、15〜20人ほどの患者さんが聞きにいられていました。

今回は、およそ50年前、米国人宣教師が日米友好の証として日本に送ってくれたお人形について書かれた新聞記事の朗読でした。新聞記事やお人形の写真をみんなで一緒に見ながら、幡野さんの朗読を聞きました。

幡野さんはこの朗読会に向けて毎週少しずつ練習を重ねていたそうです。宣教師やお人形の名前は難しいカタカナ読みですが、とどこおることなく、ゆつくり丁寧に読んでおり、とても聞きやすい朗読でした。聞いていた方からは、新聞記事の内容に関する質問や、次回の朗読会についての要望などが寄せられました。朗読会のあとはみんなで甘酒を飲みホッと一息つきました。

幡野さんは次回の朗読会に向けて現在も練習中とのことでした。



平成30年度 目標管理発表会



◇ 殊勲賞 ◇
ケアポート峡西
田艸川智恵美

活動目標・実施結果

認知症への理解を深めてもらうために、市民の方を対象とした様々な活動を企画しました。結果として、左の表のとおりとてもたくさんの方に参加いただくことができました。

目標
認知症への理解を深めるための地域へのアプローチ
～認知症になっても暮らし続けられる地域を目指して～

経緯・理由
現在、65歳以上の5人に1人が認知症の時代となっていますが、「尊厳を持つて最期まで自分らしくありたい」と、誰もが願うことと思います。認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、周囲の人たちへ認知症の理解を広げる活動を「南山会認知症キャラバン・メイト」がおこなっています。



対象	方法	開催目標	目標人数	結果
市民	ゲートボール大会	1回	50人	1回 70人
下町	ボランティアの養成・受入	4回	延べ16人	5回 12人
市民 下町	認知症サポーター養成講座・各種講座の講師派遣	5回	100人	9回 229人

活動内容紹介

* 峡西老人保健センター招待

ゲートボール大会

ゲートボール大会にて『物忘れ相談コーナー』をもうけました。認知症に関する相談をお受けするほか、運転免許更新時の認知機能テストにも挑戦していただきました。

* 下町世代間交流企画

『花めぐり散歩』

春の町内会企画として、庭自慢のお宅を巡り、お花を觀賞させていただきました。こうした町内会行事の企画・運営にも携わらせていただき、交流を深めています。

* 下町世代間交流企画

『ハロウィン』

秋の町内会企画。峡西病院の中庭を提供してもらい、地域の方とハロウィンの仮装を楽しみました。

* 認知症サポーター養成講座

児童館、自治会連合会、JANアルプス市など、8か所で認知症サポーター養成講座をおこないました。

* 各種講演活動

排泄介助の研修や、認知症の方・高齢の方との上手な接し方の講演会の開催、各種講座への講師派遣などもおこなっています。

まとめ

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、引き続き活動をおこなっていきます。「診断」「治療」から「予防」「共生」へと流れを変えていきたいとも考えています。当法人のスタッフのスキルを地域へ還元し、「支え合いの地域づくり」へ貢献していきたいと思っています。

「オレンジリング」は、「認知症の人を支援します」という意思表示です！

皆さんの地域やサークル・無尽などへ「認知症サポーター養成講座」の出席に伺います。いつでも、気軽ににご相談下さい！



新棟「与進館」竣工式・内覧会・感謝祭

令和元年12月20日(金)、新外来・精神科リハビリテーションセンター棟「与進館」の、竣工式・内覧会・関係者向け見学説明会をおこないました。午前中の内覧会には44名(24団体・個人)、午後の見学説明会には72名(45団体)にご参加いただきました。お忙しい中お越しいただきありがとうございます。建物や今後の取り組みについてたくさんのご質問・ご意見をいただき、大変実りある1日となりました。



令和元年12月21日(土)は、「新棟竣工感謝祭」を開催しました。

「地域の方に精神科病院を気軽に見てもらいたい!」「次世代の子ども達にも峡西病院を知ってもらいたい!」などの思いを込めて、イベント内容を吟味し、準備をしてきました。

当日は子どもも含め200人を超える方に来場していただきました。和楽さんによる和太鼓演奏、堀越瑞生さん・喜田理永さんによるヴァイオリン・フルートコンサートで会場を一層盛り上げていただきました。白衣体験、脳トレ体験、テレビゲームスポーツ、クリスマスオーナメントづくりなどをおこなうスタンプラリーも好評で、スタッフも一緒に楽しみ、たくさんの方と交流することができました。



ろうけん Times ★

12月26日に老健にて餅つき大会が行われました。鏡餅を作りお正月にむけて準備をしました。



本の紹介コーナー

今回は、フレル病棟介護士近藤さんにおすすめの漫画を聞きました！

本の題名：男一匹ガキ大将

(本宮ひろ志／集英社／1968年)

●読んだきっかけは？

お年玉で初めて購入した、漫画の単行本。
その後硬派に憧れる。掲載した写真は、練馬区立開進第一中学校入学後の写真です。
入学後3日目に3年生にボコボコにされ、硬派より軟派に転向、今に至る。
約50年前の良き思い出です。

●おすすめのポイントは？

男気あるガキ大将・戸川万吉がケンカを通じて次々に子分を増やしていき、ついには日本中の不良を従える総番にまで登りつめて日本を動かす男となる物語。



◆趣味…バイク、犬と遊ぶ
◆好きな食べ物…ソーリング
でご当地グルメを食す
◆好きな有名人…西島秀俊



金丸 綾
看護師
(アルプス訪問看護)

◆出身地…富士吉田
◆趣味…お菓子づくり
◆抱負…ひとつひとつ学びながら一生懸命がんばります。



眞田 夏菜
看護師
(フレル病棟)

新入社員紹介

「患者と医療者のパートナーシップ」指針

■基本方針

当院は最適な医療を提供すると同時に、患者様やご家族の医療や療養に対する希望・自己決定権を尊重して、患者・医療者のパートナーシップを大切にします。

■具体的対応と要望を反映するしくみ

- ・入院時診療計画を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(医局・看護部)
- ・月ごとの総合診療計画実施書を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(作業療法室)
- ・カンファレンスへの家族参加の呼びかけ。
- ・在宅に向けた医療スタッフの訪問と療養環境整備目的の相談を受ける。(訪問看護室)
- ・ソーシャル・スキル向上目的の訓練計画の立案へ、患者・家族の参加の呼びかけ。(臨床心理室・デイケア室)
- ・アンケート調査を通じて、要望事項の確認と対応の公開をする。(事務部)
- ・「ご意見箱」により病院管理者へ意見が届き、対応内容を院内に公開する。(接遇委員会)
- ・「家族教室」を定期的に開催し、必要な情報の提供と相談に応じる。(医療相談室)

■患者・医療者のパートナーシップを継続的検討

- ・指摘された問題や要望については、定期的な検討を行なっています。

万華鏡

長男が中学一年時の担任は、若い男性教師でした。先生は学級運営のひととして、「日記を書くこと」を生徒に課しました。

生徒は思い思いに日記を書き、それに対し先生が返事を書きました。ほぼ毎日発行される学級通信には、先生が伝えたいこと、考えていることと共に、生徒の日記の一文を紹介してくれました。先生はこの「日記と学級通信の往復」をととても大切にしています。

生徒は日記を書くことで、その日

私の趣味

発見しよう」と、好奇心を持って街を眺めること。3つ目は、自分の直感を研ぎ澄ませ、五感を（お持ちの方は第六感も）鋭くしておくこと。感覚を鋭くしておく、新しい発見があるかもしれません。

先日、「街」歩きではないですが、ガイドをつけて青木ヶ原樹海を散策しました。動植物のことや、地質のことをうかがうことができて、非常に有意義でした。しかし、おやじギャグを連発するガイドで、そこへのツッコミでとつてもくたびれました。街歩きはやっぱりひとりで行くものです。

ディケアグループ 成田 正樹

の自分を見つめ直し、学級通信を読むことで、先生や友達がどのようなことを考え、感じているのかを知ることができました。このことは長男が、中学校という新しい環境の中で自分らしく成長することにつながったと思います。

子供だけでなく、私達親にとつても、学校の行事や子供たちの様子、先生や生徒の考えていることをリアルタイムに知ること、安心し、子供の経験した出来事を追体験できました。また、先生の言葉や経験から新しいことを学ぶこともできました。

学級通信を読んでいると、知人住職の話の思い出します。住職は「住職の仕事は、人が生まれながらにもつ『仏性』にふれること。お互いを敬い大切にすると社会の実現を目指すこと」と言っていました。仏性（敬

う心）とは人の内側に存在する種のようなもので、いつ芽吹くか分かりません。住職は皆を合唱礼拝すること、皆の内側にある仏性をノックしているのだと言いました。

「人を敬う」とはどのようなことなのでしょう。人を受け入れること、受け入れるためには人を知らなければなりません。その前に自分自身のことを知らなければ、他の人を受け入れられるかどうか分かりません。日記と学級通信で子供たちは自分自身を知り、他者理解を深め、より良く生きるヒントをたくさんもらいました。先生は子供たちの内側にあるいつ芽吹くか分からない種にノックをし続けてくれたのだと思います。

きづな 久保志津子

こちら編集室

昨年の年末は帰省せず山梨で過ごしました。祖父母からはたくさんのおみやげ、餅、野菜が送られてきました。夫の実家では御節が出されたりといついつい食べ過ぎた年末年始となりました。今ではお正月ムードもすっかり過ぎ、余韻を感じることとすれば、お正月太りですね。やはり増やすのは簡単ですが、減らすのは難しいもので、苦労しています。運動嫌いで、3日坊主の私も筋トレや食事制限を始めて約1ヶ月。特に大きな変化もなく変わらぬ日々を過ごしています。

昨年は看護師になって始めての異動を経験し、慣れない環境に一生懸命で、あつという間に年末が過ぎてしまいました。2020年は今の環境を楽しめるように少し力を抜いて過ごしていきたいです。

私の印象としては、令和になってから良いニュースが少なくなっている気がします。2020年はみんながほつこりするような、世間が明るくなるようなニュースがひとつでも増えれば良いなと思います。

暖冬といわれていますが、寒いことは寒いので、風邪には気をつけて過ごしていきたいでしょう。

(☆)

今月の予定 2月

- 18日 LM委員会
19日 広報委員会
20日 主任副主任研修
(アンガーマネジメント
叱り方研修)

今月は峡西老健の斉藤三恵さんのペットです♪



名前: ゆず ♀
お昼寝、散歩、ドッグランが大好き♡

わが家のペット

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

鏡餅 神棚高し 雲の上 石川 理

学生や 研修に来た 梅ひらく 今福 和人

カラオケ バトル戦には あがつてはと

我れの手に入 書き吹き消し 大森真知子

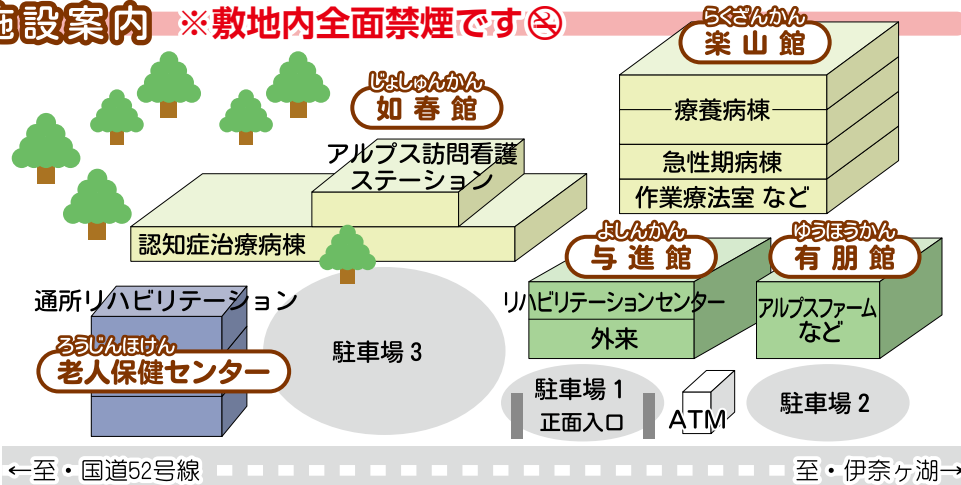
如月は ぬくもり求め 夜更着に 恵 風

2020 オリンピックの 年なりき 羽村 茂

節分は 鬼は外だよ 福はうち 渡辺 あき

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です☒



交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府ー南アルプス市甲西支所行き
(十五所経由) 鯉沢営業所行き
(西野経由) 鯉沢営業所行き
小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第390号 1987/9/5創刊

発行所

〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 南山会

* 広報委員会 *

若杉 雄司、櫻井 千恵、坂本 幸廣、近藤 忠彦
佐藤和加子、武井 美帆、山宮富美子、河西 崇子

次回391号も
お楽しみに!